

令和2年度 事業報告書
令和2年4月1日 から 令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 大地

1 事業の成果

障がい福祉サービス事業所「いちごの広場」として、引き続きサービスの質、及び利用者の工賃向上を目指し活動を行った。当年度はコロナ禍の中、事業活動が大幅に制約される事になったが、感染拡大防止策を講じつつ、利用者の安全を第一に取り組んだ。

就労継続支援B型事業では、生産活動として、従来より行ってきた農業、菓子製造、パン製造、受託事業等を継続して実施した。

農業生産では、JANPIA（日本民間公益活動連盟）が実施した「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」を受け、昨年度整備した白ねぎ作業場の横に農作業場としてガレージを併設。生産力の強化を図りつつ、引き続き県農業普及所やJA営農センターの指導を受け、鳥取県産白ねぎとしてJAを通じ生産、出荷を行った。

ヴィステひえづでは、日吉津村の委託事業として「くつろぎカフェいちご」の営業を継続して行っているが、当年度は県下に一時緊急事態宣言が発出された事により、ヴィステひえづの閉鎖、それに伴い1ヶ月程営業を休止した。営業再開後も自粛の社会下において集客が困難な状況にあったが、年度末にかけて徐々に従前の売上を取り戻しつつある。また新商品の開発や販路の開拓を行い、収益性の向上を図っている。

当事業所の主力商品となりつつあったパン製造では、担当職員の退職により一時販売の休止せざるを得なくなった。その後職員の配置見直しや製造技術の引き継ぎを行い、令和3年度から販売を再開した。

また当年度は、日吉津村の感染症対策支援事業として、エコバック受託生産を実施。オリジナルデザインのステンシルを施したエコバッグを製作、納品し、日吉津村を通じ村内全戸へ配布された。

生活介護事業では、引き続き「生産活動」と「余暇活動」を組み合わせたプログラムにより支援を行った。月に1度、日吉津村赤い羽根共同募金の助成事業として、音楽や楽器を使い体を動かす「音楽活動」を実施し、利用者の身体機能や心身の健康の向上を図っている。

令和3年3月末時点での登録者数は、就労継続支援B型18名、生活介護5名、年間平均利用者数は就労継続支援B型13.1名、生活介護2.3名、平均月額工賃は15,421円（就労継続支援B型）となった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
障害者総合支援法に基づく自立支援給付事業	障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型・生活介護サービス事業	常時	いちごの広場	15人	利用者24人	35,967
生産、販売事業	農業生産物、焼菓子、パン、手工芸品等の販売	常時	いちごの広場及び県内	15人	利用者24人 一般消費者	5,792
受託事業	ヴィンステひえづ喫茶営業及び清掃業務、広告紙の丁合い、キクラゲ調製作業、苗箱洗浄、日吉津村指定ごみ袋販売	常時	いちごの広場及び日吉津村内	15人	利用者24人 委託関係者	6

(2) その他の事業

実施なし

(備考)

- 2の(1)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(1)のうち、「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 2の(2)については、事業毎に事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 2の(2)については、定款上「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、当該事業年度に実施しなかった場合も「実施しなかった」旨を記載する。